

MultiPresenter アプリケーション (Windows 用 / macOS 用)

ユーザーマニュアル

Ver. 1.2.0 対応



目次

1. MultiPresenter の概要.....	2
1-1. 特長	2
1-2. 動作条件.....	3
2. インストール／アンインストール	3
2-1. インストール	3
2-2. アンインストール.....	3
3. メニューアイコンについて	4
4. MultiPresenter Stick やプロジェクターに接続する.....	5
4-1. インテリジェントコネクションを使用する.....	5
4-2. 簡易アクセスポイントやインフラストラクチャを使用する	6
5. メニューアイコンの詳細説明	7
5-1. ステータス表示.....	7
5-2. 発表者になる	7
5-3. ターゲットデバイス	7
5-4. 全画面表示 / 分割画面表示.....	8
5-5. サスペンド / レジューム.....	9
5-6. ロックスクリーン / アンロックスクリーン	9
5-7. 接続情報を隠す / 接続情報を表示する	9
5-8. 設定	9
5-9. Wi-Fi 接続用 QR コード	10
5-10. 終了	11
6. コネクションリストを編集する.....	11
6-1. 編集／インポート／エクスポート画面	11
6-2. 検索対象グループ選択画面.....	12
7. 商標について	13

1. MultiPresenter の概要

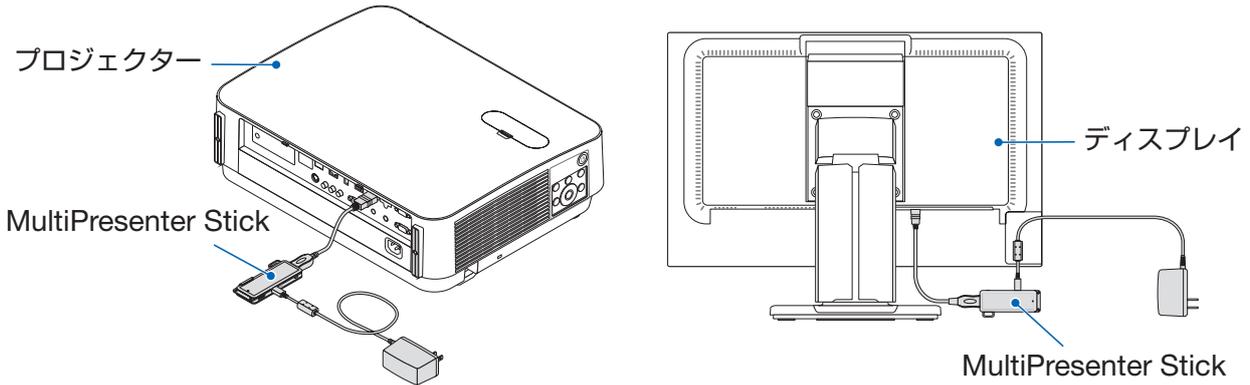
1-1. 特長

●画像や音声の送信

MultiPresenter（以降「本アプリ」と記載します）は、当社の MultiPresenter Stick（DS1-MP10RX シリーズ）と無線 LAN を使って接続することにより、コンピューターの画面や音声（音声は Windows 使用時のみ）を無線 LAN を経由して送信し、ディスプレイやプロジェクターで表示することができます。

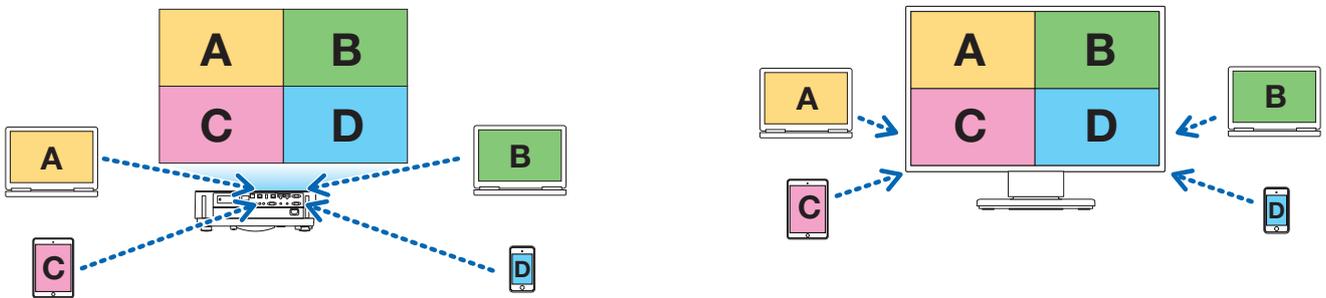
また、本アプリに対応しているプロジェクターをお使いの場合は、MultiPresenter Stick を使用せずに、無線 LAN または有線 LAN を経由してコンピューターの画面や音声（音声は Windows 使用時のみ）を送信することができます。

本書では、MultiPresenter Stick やプロジェクターをまとめて「受信機器」と呼んでいるところがあります。



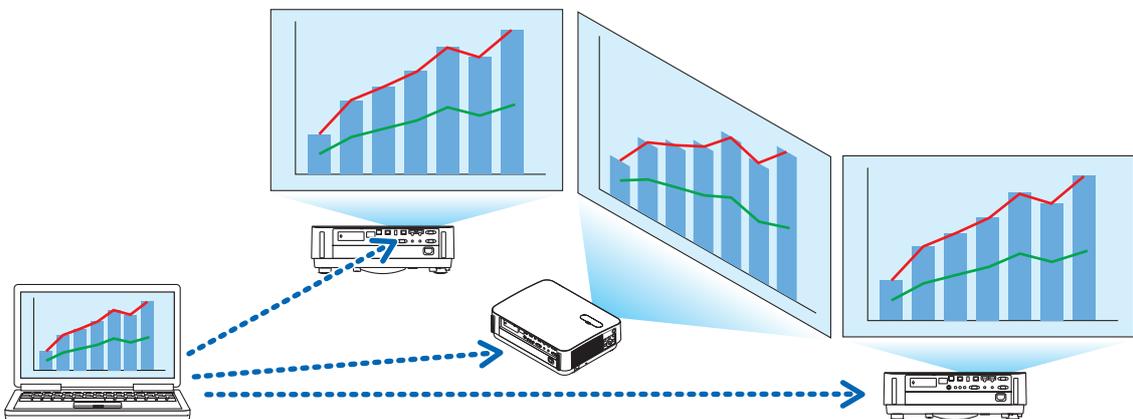
●マルチ画面表示

複数のコンピューターで本アプリを起動し、各々から 1 台の受信機器へ画像を送信すると、マルチ画面表示が行えます。最大 16 画面（4 行× 4 列）を同時に表示できます。このとき、受信機器は“マルチ画面表示”に対応している必要があります。



●複数の受信機器での同時表示

本アプリから複数の受信機器（最大 5 台程度）へ画像を送信し、各受信機器に表示することができます。



●インテリジェントコネクション

PIN コード（4 桁の数字）を入力することによって少ない操作で無線 LAN を経由した接続を可能にする“インテリジェントコネクション”に対応しています。

インテリジェントコネクションを使って接続する場合は、MultiPresenter Stick やプロジェクター^注の無線 LAN のプロファイルを「インテリジェントコネクション」に設定してください。

注：「インテリジェントコネクション」に対応している機種に限ります。

●プロジェクター制御機能

プロジェクターと接続しているとき、本アプリのターゲットデバイスウィンドウからプロジェクターの電源オフ、入力端子切り替え、映像制御、音量調整、通信の切断などの制御を行うことができます。

●11 言語対応

メニュー表示やガイドメッセージが次の 11 言語に対応しています。

英語、日本語、中国語（簡体字）、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、スウェーデン語、ロシア語、韓国語

注：インストーラーは英語表示のみです。

●マルチ OS 対応

Windows 用、macOS 用のアプリの他、Android 用、iOS 用のアプリもご用意しています。

Android 用アプリは Google Play から、iOS 用アプリは App Store からダウンロードしてください。

1-2. 動作条件

対応機種	MultiPresenter Stick (DS1-MP10RX シリーズ) MultiPresenter に対応した当社のプロジェクター
対応 OS	Windows 10、Windows 8.1、Windows 7 macOS 10.12, 10.13, OS X 10.7 ~ 10.11

その他、詳しくは、MultiPresenter のホームページをご覧ください。

2. インストール／アンインストール

本アプリのインストーラーファイルは、MultiPresenter のホームページからダウンロードしてください。または、MultiPresenter Stick の WEB サーバーからダウンロードすることもできます。

2-1. インストール

2-1-1. Windows の場合

- ① MultiPresenter_Win_Installer_xxx.exe をコンピューターにダウンロードします。
- ② MultiPresenter_Win_Installer_xxx.exe をダブルクリックします。

以降は画面のメッセージに従って操作してください。

インストールが完了すると、デスクトップに MultiPresenter のショートカットアイコンが表示されます。

2-1-2. macOS の場合

- ① MultiPresenter_Mac_xxx.zip をコンピューターにダウンロードします。
- ② MultiPresenter_Mac_xxx.zip を解凍します。
- ③ MultiPresenter.dmg をダブルクリックします。
- ④ 展開されたウィンドウ内の MultiPresenter をアプリケーションフォルダーにドラッグ・アンド・ドロップします。

2-2. アンインストール

2-2-1. Windows の場合

- ① Windows の「コントロールパネル」ウィンドウを表示します。
- ② 「プログラムと機能」または「プログラム」をクリックします。
- ③ 「MultiPresenter」を選択し「アンインストール」をクリックします。

2-2-2. macOS の場合

- ① アプリケーションフォルダー内の MultiPresenter を選択し、ゴミ箱へ入れます。

3. メニューアイコンについて

本アプリのメニューアイコンは、受信機器との接続状態に応じて次のように変わります。ステータス表示アイコンより下を機能アイコンと呼びます。ステータス表示アイコンをクリックするたびに機能アイコンを表示／非表示できます。ターゲットデバイスアイコンや設定アイコンをクリックすると設定ウィンドウを表示／非表示できます。



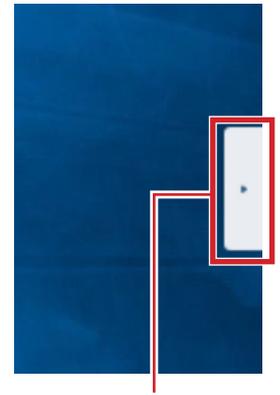
参考

本アプリの「設定」→「画像」タブの「MultiPresenter を常に手前に表示する」を「オン」に設定していると、本アプリが非アクティブ（他のアプリがアクティブ）状態のときも常に本アプリが手前に表示されます。（→ 10 ページ）

一方、「MultiPresenter を常に手前に表示する」を「オフ」に設定していると、本アプリが非アクティブ（他のアプリがアクティブ）状態になると、本アプリは最小化され隠されます。（初期値は「オフ」です。）

再び本アプリを操作する場合は、OS の手順に従ってもとの大きさに戻してください。ただし Windows 用では、本アプリが非アクティブになると、画面の右端に“最小化アイコン”が表示されます。本アプリを操作する場合は、画面右端の最小化アイコンをクリックしてください。

Windows 用の“最小化アイコン”は最前面に表示されるので、他のアプリがフルスクリーン表示されている場合でも、クリックすることが可能です。



最小化アイコン

注意

- 本アプリと受信機器が 1 対 1 で接続しているときは、「発表者になる」、「全画面表示／分割画面表示」は選択できません。
- 他のユーザーの MultiPresenter が「ロックスクリーン」を選択しているときや、MultiPresenter Stick の WEB サーバーの「設定」や MultiPresenter に対応しているプロジェクターにおいて、MultiPresenter の「管理」モードを設定しているときは、「発表者になる」、「全画面表示／分割画面表示」、「ロックスクリーン／アンロックスクリーン」、「接続情報を隠す／接続情報を表示する」は選択できません。
- “マルチ画面表示”に対応していない受信機器に接続しているときや、複数の受信機器と接続しているときは、「発表者になる」、「全画面表示／分割画面表示」、「サスペンド／レジューム」、「接続情報を隠す／接続情報を表示する」は表示されません。

4. MultiPresenter Stick やプロジェクターに接続する

4-1. インテリジェントコネクションを使用する

4-1-1. MultiPresenter Stick と接続する

- ① MultiPresenter Stick をディスプレイやプロジェクターに接続し、電源を入れ、スタート画面を表示します。
手順については、MultiPresenter Stick のクイックセットアップガイドをご覧ください。
- ② 本アプリを起動します。
ターゲットデバイスウィンドウが表示されます。
- ③ スタート画面に表示されている PIN コードを、ターゲットデバイスウィンドウに入力します。
MultiPresenter Stick との接続が完了すると、コンピューターの画面がディスプレイやプロジェクターから表示されます。



4-1-2. プロジェクターと接続する

- ① プロジェクターに無線 LAN ユニットを接続し、電源を入れます。
- ② プロジェクターのオンスクリーンメニューや HTTP サーバーでネットワーク設定画面を表示し、無線 LAN のプロファイルを「インテリジェントコネクション」に変更します。
- ③ プロジェクターの入力端子を「LAN」に切り替えます。
投写画面に PIN コードが表示されます。
PIN コードは、オンスクリーンメニューの「情報」画面にも表示されます。
- ④ 本アプリを起動します。
ターゲットデバイスウィンドウが表示されます。
- ⑤ 投写画面に表示されている PIN コードを、ターゲットデバイスウィンドウに入力します。
プロジェクターとの接続が完了すると、コンピューターの画面がプロジェクターから投写されます。

4-2. 簡易アクセスポイントやインフラストラクチャを使用する

4-2-1. MultiPresenter Stick と接続する

- ① MultiPresenter Stick をディスプレイやプロジェクターに接続し、電源を入れ、スタート画面を表示します。
手順については、MultiPresenter Stick のクイックセットアップガイドをご覧ください。
- ② MultiPresenter Stick の設定メニューを表示して、無線 LAN のプロファイルを変更します。
手順については、MultiPresenter Stick の Important Information をご覧ください。
- ③ スタート画面に表示されている「接続情報」に従って、お使いのコンピューターを接続します。
- ④ 本アプリを起動します。
ターゲットデバイスウィンドウが表示されます。
- ⑤ 「デバイス選択」を選択し、一覧から受信機器を選択します。
MultiPresenter Stick との接続が完了すると、コンピューターの画面がディスプレイやプロジェクターから表示されます。

4-2-2. プロジェクターと接続する

- ① プロジェクターに無線 LAN ユニットを接続、または LAN ケーブルを接続し、電源を入れます。
- ② プロジェクターのオンスクリーンメニューや HTTP サーバーでネットワーク設定画面を表示し、無線 LAN または有線 LAN のプロファイルを変更します。
手順については、プロジェクターの取扱説明書をご覧ください。
- ③ プロジェクターのオンスクリーンメニューの「情報」画面に表示されるネットワーク設定に従って、お使いのコンピューターを接続します。
- ④ 本アプリを起動します。
ターゲットデバイスウィンドウが表示されます。
- ⑤ 「デバイス選択」を選択し、一覧から受信機器を選択します。
プロジェクターとの接続が完了すると、コンピューターの画面がプロジェクターから表示されます。

5. メニューアイコンの詳細説明

5-1. ステータス表示

本アプリの状態を表示します。

ステータス表示アイコンをクリックすると、その下の機能アイコンの表示／非表示を切り替えることができます。

アイコンの表示	状態				
	MultiPresenter Stick やプロジェクターなどの受信機器と接続していない状態を表しています。				
	受信機器と接続している状態を表しています。アイコンの左右の色が異なるのは“マルチ画面表示”に対応していることを表しています。 🚫 は「発表者になる」と「全画面表示」が選択できないことを表しています。 🔒 はロックスクリーン状態を表しています。 ❶ または ❷ はソースディスプレイを表しています。 📶 は電波強度を表しています。 <table border="1" data-bbox="386 766 1465 810"><tr><td>📶 : 強</td><td>📶 : 中</td><td>📶 : 弱</td><td>📶 : 電波なし</td></tr></table> 🔌 は有線 LAN 接続を表しています。 📶 は通信状態が不良であることを表しています。	📶 : 強	📶 : 中	📶 : 弱	📶 : 電波なし
📶 : 強	📶 : 中	📶 : 弱	📶 : 電波なし		
	複数の受信機器に同時に接続していることを表しています。または“マルチ画面表示”に対応していない受信機器に接続していることを表しています。				

5-2. 発表者になる

複数の MultiPresenter から 1 台の受信機器へ画像を送信しているとき、自分が送信している画像を全画面表示します。

注意

次のとき「発表者になる」は選択できません。

- 接続している受信機器が“マルチ画面表示”に対応していないとき。
- 他のユーザーの MultiPresenter が「ロックスクリーン」を選択しているとき。
- 本アプリと受信機器が 1 対 1、または 1 対複数で接続しているとき。
- MultiPresenter Stick の WEB サーバーの「設定」や MultiPresenter に対応しているプロジェクターにおいて、MultiPresenter の「管理」モードを設定しているとき。

5-3. ターゲットデバイス

本アプリを MultiPresenter Stick やプロジェクターに接続するためのウィンドウです。

「接続」と「制御」の 2 つのタブがあります。

「制御」タブの各ボタンは、プロジェクターと接続しているときに働きます。MultiPresenter Stick と接続しているときは「更新 」、「切断」、「サーバーを表示」ボタンのみ働きます。

【接続】 タブ

PIN コード	受信機器に表示されている PIN コード(4桁の数字)を入力します。PIN コードは、コンピューターのキーボードからも入力できます。
デバイス選択	同一ネットワーク上で見つかった受信機器、またはコネクションリストに登録してある機器のうち見つかったものを一覧で表示します。 接続する機器名をクリックします。 <ul style="list-style-type: none"> 「複数選択」をクリックすると、受信機器一覧の左にチェックボックスを表示します。 をクリックすると一覧を更新します。 機器と接続すると、その機器名の右側に☆マークが表示されます。☆マークをクリックし、黄色になると「お気に入り」に登録されます。 「IPアドレスで検索する」をクリックすると入力画面が表示されます。接続したい機器のIPアドレスを「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で入力します。 「コネクションリストを編集する」については 11 ページをご覧ください。
お気に入り	☆マークを黄色にした機器が一覧で表示されます。 ☆マークをクリックし、黄色が白色になると、お気に入りが解除されます。
履歴	これまでに接続したことのある機器名が一覧（最大 10 件）で表示されます。接続した日時が新しい順に上から表示されます。
ユーザー名	ユーザー名をクリックすると、ユーザー名の編集画面が表示されます。ユーザー名の文字数は、0～32文字です。
接続後にサスペンドする	受信機器と接続後にサスペンドするかどうかを設定します。（初期値はオフ）
全切断	受信機器と接続している状態のときに表示され、選択すると通信を切断します。

【制御】 タブ

映像	ミュート（映像の消去）、フリーズ（静止）、表示が行えます。
音声	ミュート（消音）、再生が行えます。
音量	スライダーバーを動かして音量を変えることができます。
入力	入力端子を表示して切り替えることができます。 表示できる言語は、3言語（英語、日本語、中国語（簡体字））のみです。それ以外の言語の場合は英語で表示されます。
電源をオフ	プロジェクターの電源を切りスタンバイ状態にします。
切断	受信機器との通信を切断します。
サーバーを表示	ネットワークで接続している受信機器の WEB サーバーまたは HTTP サーバーを表示できます。

5-4. 全画面表示 / 分割画面表示

複数の MultiPresenter から 1 台の受信機器へ画像を送信しているとき、自分が送信している画像を全画面表示するか、分割表示するかを選択します。

注意

次のとき「全画面表示／分割画面表示」は選択できません。

- 接続している受信機器が“マルチ画面表示”に対応していないとき。
- 他のユーザーの MultiPresenter が「ロックスクリーン」を選択しているとき。
- 本アプリと受信機器が 1 対 1、または 1 対複数で接続しているとき。
- MultiPresenter Stick の WEB サーバーの「設定」や MultiPresenter に対応しているプロジェクターにおいて、MultiPresenter の「管理」モードを設定しているとき。

5-5. サスペンド / レジューム

自分が送信している画像を一時停止（サスペンド）するか、再開（レジューム）するかを選択します。

注意

次のとき「サスペンド／レジューム」は選択できません。

- 接続している受信機器が“マルチ画面表示”に対応していないとき。
- 本アプリが複数台の受信機器と接続しているとき。

5-6. ロックスクリーン / アンロックスクリーン

他のユーザーの MultiPresenter から受信機器を操作するのをロック（禁止）するか、アンロック（解除）するかを選択します。

注意

次のとき「ロックスクリーン／アンロックスクリーン」は選択できません。

- 本アプリから送信している画像を全画面表示していないとき。
- 他のユーザーの MultiPresenter が「ロックスクリーン」を選択しているとき。
- MultiPresenter Stick の WEB サーバーの「設定」や MultiPresenter に対応しているプロジェクターにおいて、MultiPresenter の「管理」モードを設定しているとき。

5-7. 接続情報を隠す / 接続情報を表示する

受信機器の画面に接続情報（PIN コード、SSID、セキュリティキー、デバイス名、WEB サーバーの URL）を表示するか、表示しないかを選択します。

注意

次のとき「接続情報を隠す／接続情報を表示する」は選択できません。

- 他のユーザーの MultiPresenter が「ロックスクリーン」を選択しているとき。
- MultiPresenter Stick の WEB サーバーの「設定」や MultiPresenter に対応しているプロジェクターにおいて、MultiPresenter の「管理」モードを設定しているとき。
- 受信機器によっては、接続情報を表示できないものがあります。

5-8. 設定

本アプリの設定を行います。

「画像」、「音声」、「検索」、「このアプリについて」の4つのタブがあります。

「音声」タブは、Windows 用のときにだけ表示されます。

【画像】タブ

画質	送信する画像の画質を設定します。画質を下げると送信する速度が速くなります。
最大フレームレート	送信する画像の最大フレームレートを設定します。
送信画像を出力解像度に拡大する	送信する画像の解像度を受信機器の出力解像度に応じて拡大するかを設定します。（初期値はオン）

Windows Aero を使用する	Windows Aero を使用するかどうかを設定します。Windows 7 のときにのみ設定できます。(初期値はオン) この設定をオフにすると、本アプリが起動時に Windows ベーシックに切り替わります。本アプリを終了すると Windows Aero に戻ります。
レイヤードウィンドウを伝送する	レイヤードウィンドウを伝送するかどうかを設定します。Windows 7 のときにのみ設定できます。(初期値はオン)
MultiPresenter を常に手前に表示する	MultiPresenter を常に手前に表示するかどうかを設定します。(初期値はオフ)

【音声】 タブ

音声を伝送する	音声を送信するかどうかを設定します。(初期値はオン)
音源	音源を選択します。右側の▼をクリックすると一覧を表示します。
レイテンシー	音声を送信する際のレイテンシーを設定します。

【検索】 タブ

ブロードキャストを用いて検索する	受信機器を検査する際、ブロードキャストを用いてローカルネットワークを検索するかどうかを設定します。(初期値はオン)
コネクションリストを用いて検索する	受信機器を検索する際、コネクションリストを用いて検索するかどうかを設定します。(初期値はオン)
インテリジェントコネクションを使用する	インフラストラクチャを使用する場合に、オフにすることで、インテリジェントコネクションの動作を抑止できます。(初期値はオン) 注意 • オンになっていると、指定した PIN コードの受信機器がインフラストラクチャで見つからない場合、インテリジェントコネクションが動作します。

【このアプリについて】 タブ

バージョン	「MultiPresenter」の下に本ソフトのバージョンが表示されています。
ライセンス情報	ライセンス情報画面を表示します。
最新バージョンを確認する	最新バージョン確認画面を表示します。 最新バージョンを確認する際は、本アプリのホームページにアクセスするため、インターネットに接続する必要があります。

5-9. Wi-Fi 接続用 QR コード

本アプリが受信機器とインテリジェントコネクション（ワンタイム PIN コード）で接続している場合に、iOS の端末で Wi-Fi 接続する際に利用可能な QR コードを表示します。

QR コードを iOS 端末のカメラアプリで撮影することで、MultiPresenter アプリ (iOS 用) において、これまで手で切り替えていた Wi-Fi 接続を自動で行うことができます。QR コードの使用方法は、MultiPresenter アプリケーション (Android 用 /iOS 用) ユーザーマニュアルをご覧ください。

注意

- この機能は iOS11 以降の端末を受信機器と Wi-Fi 接続する際に利用できます。

5-10. 終了

本アプリを終了します。

インテリジェントコネクションで受信機器と接続しているときは、もとの無線 LAN の設定に戻します。

6. コネクションリストを編集する

コネクションリストを使用すると、複数の受信機器をグループ化し管理することができます。例えば、会議室や教室ごとに受信機器を設置している場合などに、各受信機器の IP アドレスをコネクションリストに登録しておく、受信機器の検索が素早く行えるので便利です。

コネクションリストに受信機器を登録すると、本アプリで自動検索することができます。検索したい受信機器をグループで絞り込むこともできます。

また、作成したコネクションリストは、エクスポート（ファイルとして書き出し）し、他のコンピューターやスマートフォンなどにインポート（ファイルの読み込み）して共有することができます。

6-1. 編集／インポート／エクスポート画面



グループリスト	グループを階層で表示します。グループ数は最大 100、最大 5 階層までです。
コネクションリスト	選択したグループ内の受信機器の一覧を表示します。コネクション数は最大 2000 までです。コネクションを別のグループへドラッグ・アンド・ドロップすると、コネクションを移動することができます。
グループを追加	グループを追加します。1～64 文字まで入力できます。
コネクションを追加	選択しているグループにコネクション（名前、受信機器の IP アドレス、コメント）を追加します。名前とコメントは 0～32 文字まで入力できます。IP アドレスは「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で入力してください。
編集	追加したグループやコネクションを編集します。
削除	追加したグループやコネクションを削除します。
保存	編集したコネクションリストをコンピューターに保存します。
完了	コネクションリストの編集を終了します。
エクスポート	編集したコネクションリストをファイルとして書き出します。ファイルの拡張子は「.ncp」となります。
インポート	コネクションリストのファイルを読み込みます。読み込めるファイルの拡張子は「.ncp」のみです。

参考

- 本アプリが起動していないとき、または未接続状態のとき、コネクションリストのファイル (.ncp) をダブルクリックすると、インポートを実行できます。

6-2. 検索対象グループ選択画面



グループリスト	検索の対象とするグループにチェックマークを付けます。
全てのチェックを外す	すべてのチェックマークを外します。
全てのチェックを付ける	すべてのグループにチェックマークを付けます。
完了	検索対象グループ選択を終了します。

注意

- 本アプリのコネクションリストは、Image Express Utility 2.0、および Image Express Utility Lite の接続先リストとは互換性がありません。

7. 商標について

- MultiPresenter は、NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Android、Google Play は、Google Inc. の登録商標または商標です。
- macOS、OS X は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。
- Wi-Fi は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
- (4) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。